

のびのび



2019年度校長室だより 第10号 令和2年3月2日

湯田小学校のキャッチフレーズ： あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

2019年度チャレンジ目標：湯田小ABC

合い言葉：やさしい言葉

2分の1成人式

校長 伊藤 豊

2月20日に、本年度最後の授業参観と学級懇談会を開催しました。当日は天候にも恵まれて、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。熱心にご参観いただいたおかげで、子供たちもいつも以上に活動的な姿、集中した姿が見られました。

4年生は、10歳の節目を迎えた記念に「2分の1成人式」を挙行了しました。この取り組みは、山口県教育委員会が全県で勧めているもので、子供一人ひとりが、自分の周囲の人々に感謝しながら10歳の成長をふりかえり、将来を夢見ながら新たな決意を促すという目的をもちています。本校でも、この日に向けて何度も練習と準備を重ねてきました。式典なので、私も礼服で参列しました。その時に述べた式辞の一部をここに掲載します。2分の1成人式に臨んだ4年生に限らず、全ての学年の子供たち、子供たちを取り巻く大人に意識してほしい事柄です。

「言葉」は人を動かします。誠実な言葉は、相手をよき方向へ連れて行きます。幸せを運んでくれることもあります。一方、悪意ある言葉は、相手を悲しみや苦しみへと連れて行きます。言った本人に悪意は無くとも、その言葉を受け取った相手が悲しみ、苦しむ例としては、噂話や陰口、SNS上のトラブル等が挙げられます。言葉を口にする時や文字にする時に、「そんなつもりではなかったのに」という後からの言い訳は間に合いません。いつも心して口にしたり文字にしたりしなければなりません。

本日、2分の1成人となられた皆さんには、このところをしっかりと意識してこれから過ごしてほしいと願っています。自分自身の言葉で、家族や友達、先生や地域の人といった、周りの全ての人たちが「勇気づけられ、考えさせられ、温かな気持ちになる」ような言葉、そう「やさしい言葉」を強く意識して過ごしてください。

口にしたり文字にしたりした言葉は、必ず自分に返ってきます。わかりやすく言えば、やさしい言葉を使えば、あなた自身も「勇気づけられ、考えさせられ、温かな気持ちになる」のです。仮に人の悪口や文句、悪意ある言葉を使えば、必ずや回り回って自分に悲しみや苦しみが返ってくることでしょう。

いいですか、これから高学年となる皆さんは、苦しいことや悲しいことにも出会うことがあるかもしれません。その時にも、自分自身は「やさしい言葉」を意識して使い続けてください。みんなが「やさしい言葉」を使い続ければ、「やさしい言葉」があふれてきます。そんなあなたには、必ず周りから「やさしい言葉」が返ってくるはずです。昔から「情けは人のためならず」といいます。「人に優しくすることは、他人のためではない、あなた自身のためになること」というのが正しい意味です。

まさに「やさしい言葉は、ひとのためならず」です。言葉は、使うその人自身を表します。本日を迎えた皆さんが、自分自身を誇れるような「やさしい言葉」の使い手になっていくことを心から願い、2分の1成人式に当たっての式辞とします。

感染症予防のために

新型コロナウイルスへの感染予防措置として、3月26日まで臨時休業となりました。急な決定にも関わらず、保護者の皆様に適切にご対応いただきましたことに対しまして、感謝申し上げます。臨時の登校日となった3月2日には、全校児童に向けて「今が自分の力が試される時」と話しました。日頃学校で学んだ様々なことが学習や生活において活かされることを願っています。



何より、今私たちができることは、「手洗いの励行」と「うがい」、「体調不良時は無理をしない」ことだと思います。どうぞ、ご家庭や地域におかれましても「手洗いの励行」と「うがい」をすすめていただき、地域全体で感染症を予防していきたいと思います。そして、子供たちが屋外で元気に思いっきり遊べる日が一日も早く訪れることを願いたいと思います。

市内全小中学校スペイン給食day

去る2月19日は、山口市とスペインナバラ州パンプローナ市との姉妹都市提携40周年を記念して、市内の給食メニューがスペイン料理でした。本校も、「パエリア、鱈の唐揚げオレンジソース、ソパデアホ」を提供しました。



その時日本とスペインのつながりは、今から約470年前に、フランシスコ・ザビエルが日本にやってき、その時に山口の大内義隆が活動を認めるところから両国の関係が始まります。そして、1980年2月19日、山口市はパンプローナ市と姉妹都市提携を行いました。この日、給食の時間には山口市国際交流課のエフライン・ビジャモールさんによる姉妹都市のお話（録音）がありました。子供たちは、スペインという国を想像しながら、目の前のスペイン料理を味わいました。今年の夏は東京オリンピックやパラリンピックが開催されます。いつも以上に、世界に目を向ける年になるはずです。中でも山口市とつながりが深いスペインチームのことを意識すると、より楽しめるかもしれません。

給食の時間には山口市国際交流課のエフライン・ビジャモールさんによる姉妹都市のお話（録音）がありました。子供たちは、スペインという国を想像しながら、目の前のスペイン料理を味わいました。今年の夏は東京オリンピックやパラリンピックが開催されます。いつも以上に、世界に目を向ける年になるはずです。中でも山口市とつながりが深いスペインチームのことを意識すると、より楽しめるかもしれません。

